





# 議会報告会を開催しました

～貴重な御意見をありがとうございました～

議会報告会

会場：高柳コミュニティセンター

## 議会報告会の概要

「議会報告会」を、11月6日(月)、7日(火)、9日(木)、10日(金)の4日間にわたり、各地区のコミュニティセンターなど12カ所で実施しました。

内容は、①平成28年度決算審査における施策・事務事業評価の報告、②市政や議会に対するの意見交換を行いました。主な質問や意見は、次のとおりです。

- ◎…参加者からの質問など
- ◎…議員からの回答をあらわしています

## 公共交通

◎路線バスが確保されているところと、行き届いていないところがある。もう少し路線の工夫が必要ではないか。

◎買い物や通学に合わせた路線や時間帯の運行はできないものか。

●市議会も公共交通のあり方については、重要な問題として捉えている。

また、総務常任委員会において、重要課題として取り組んでいる。今後も利用者のニーズなどを捉え、さらに議論を深めていきたい。

## 介護人材不足

◎介護施設などを運営する事業所が、事業規模を縮小しなければならぬほど、介護の人材不足は深刻である。

◎介護という仕事に対して、先入観(忙しい・大変・低賃金)を持つ人が多いが、マイナス面だけでなく、プラス面もアピールすべき。

●柏崎市に限らず、全国的に人材不足となっているのが現実。給与が低い、変則的な勤務を強いられる、福祉教育の不足などの課題がある。

しかし、こうした課題を一つ一つ解決していかなければ将来が見えてこない。議会も市と一緒に頑張って、一生懸命熱意を持って取り組んでいきたい。

また、介護のプラス面も意識して伝えていきたい。

## U・ーターン

◎市外からの移住を誘導するためには、例えば、空き家の活用や十日町市のような地域おこしの取り組みなどの工夫が必要だ。行政と議会、それぞれで検討いただきたい。

●貴重な御意見をいただいた。議会としても、子育て支援などの福祉分野だけでなく、空き家の活用や雇用の確保、そしてシティセールスなど、総合的な施策展開をして、取り組まなければならないと認識している。

## 議員定数

◎議会改革における議員定数について、どのような進捗になっているか。

◎市民は市民、議員は議員なりの意見があると思うが、お互いに意見交換をする機会を設けてほしい。

●議員定数について、議会で議論を始めている。市民との意見交換は、議論の中で検討をしていきたい。



会場：中通コミュニティセンター

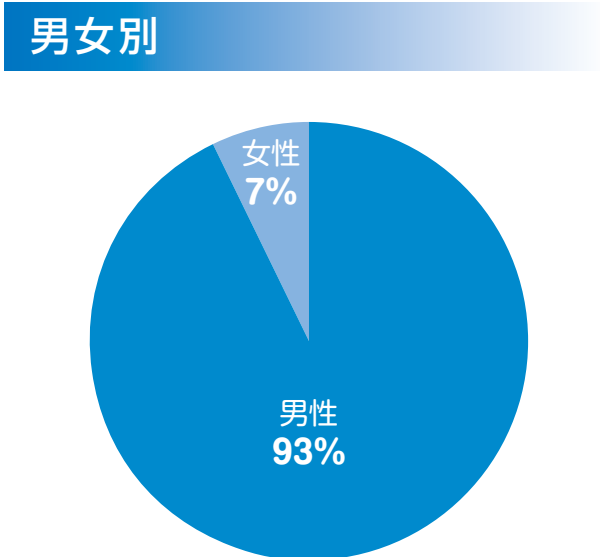
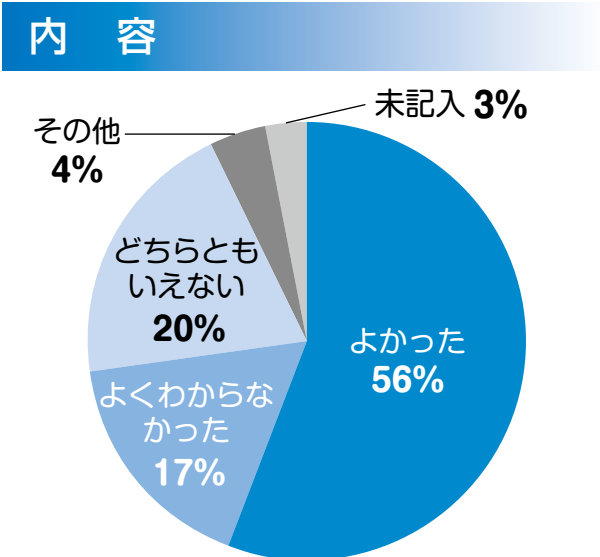
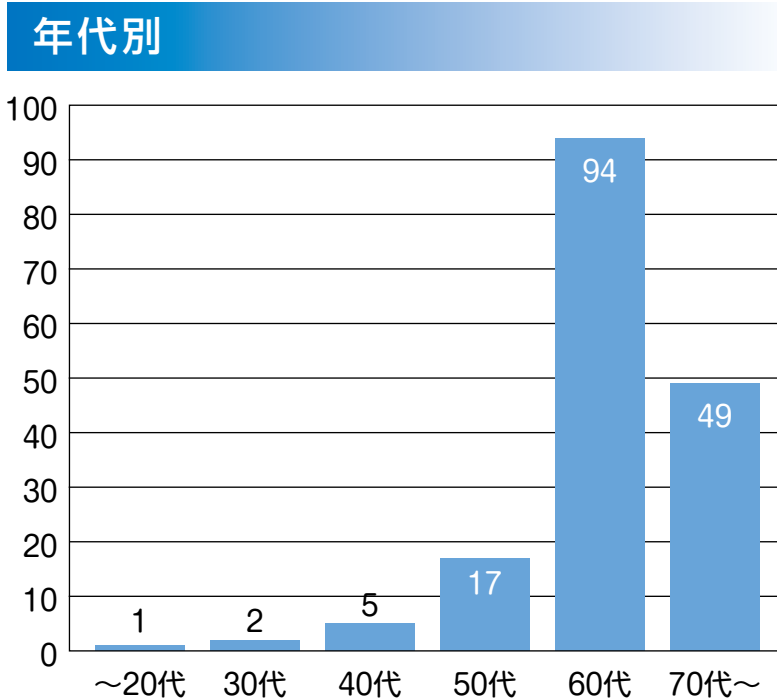
### 議会報告会

- ◎「議会報告会」という名称がかた過ぎる。もつと気楽な感じを出してもよいのでは。
- ◎議会報告会の開催周知が足りない。
- ◎資料は、きれいな言葉の羅列であり、もう少し深い議論や生の声をわかりやすく掲載してほしい。
- わかりやすい議会報告会となるよう、内容や資料を工夫するとともに、周知方法も検討していきたい。

## 各会場の参加者数とアンケート結果

4日間合計で180人の方から御参加いただき、たくさんの貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。いただいた御意見などは、市民の声として、市に届けるとともに、市政に反映するよう議会としてもさらに議論をしていきます。(アンケートは168人の方から回答をいただきました)

会場別	
西山いきいき館	13
半田コミセン	7
北条コミセン	1
比角コミセン	10
中鯖石コミセン	10
市役所101会議室	4
荒浜コミセン	10
田尻コミセン	46
高柳コミセン	18
中通コミセン	37
上米山コミセン	12
鵜川コミセン	12
合計	180



# 12月定例会議



12月定例会議 本会議

12月定例会議は、12月5日から20日まで行われました。審議した案件は、市長提出議案16件、議員提出議案2件の計18件で、全て原案可決(同意)しました。  
可決した主な議案は、平成29年度一般会計補正予算、市立博物館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例、公の施設の指定管理者の指定などです。  
一般質問は、3日間にわたり16人の議員が行いました。(一般質問は7ページから掲載)

## 議員提出議案 (委員会発案)

▼軍事的挑発を繰り返す北朝鮮を強く非難し、日本海沿岸の警備強化を求める決議(案)

(要旨)

北朝鮮は挑発的な弾道ミサイルの発射を繰り返し、また核実験を強行し、我が国に対する直接的脅威、国民の生命と財産を奪いかねない暴挙として断じて容認できない。北朝鮮に対し、これまで以上に断固とした抗議をし、これらの蛮行を強く非難する。

また、日本海沿岸地域では、北朝鮮からとみられる木造船の漂着が相次ぎ、使命を帯びた軍人であった場合の対処、致命的伝染病患者、罹患者であった場合の対処も十分に考慮する必要がある。

政府におかれては、国民の生命、財産を守る万全の態勢を早急に構築し、国際連携を強化することで、北朝鮮への制裁の実効性を高めるとともに、海上保安庁を初めとする、関係省庁による日本海沿岸の警備強化、増加すると思われる北朝鮮からの漂着者に対応できる体制の構築を行うよう

強く求める。

新潟県においては、十分な予算措置を行った上で、新潟県警察による海岸線のさらなる警備体制の強化を求める。

※全会一致で可決しました。

※可決した決議は、内閣総理大臣・海上保安庁長官・新潟県知事などに送付しました。



荒浜に漂着した木造船

## 一般会計予算の 増額補正を可決

市長から、一般会計予算について、第10号の補正予算が提出され、議会は全会一致で可決し、一般会計の予算は、総額49.6億85万7千円となりました。補正予算の主な内容は、次のとおりです。

▼法律事務所誘致推進事業  
(新たな法律事務所の開設に伴う補助金の追加) 300万円

▼ふるさと応援事業(寄附金の増額に伴う御礼品発送の業務委託料を増額) 1986万2千円

▼地域活動支援センター事業  
(元気館障害者デイサービスセンター利用者の増加に伴う委託料を増額) 278万5千円

▼ごみ減量化・リサイクル対策費(庭の草や剪定枝の受け入れ増加に伴う委託料を増額) 200万円

▼常備消防一般管理費の警防業務経費及び一般経費(新採用消防職員用の防火防護服等の装備品の購入経費) 427万1千円

▼防災行政無線施設整備事業  
(戸別受信機の新規設置及び修理が増加していることに伴う委託料を増額) 709万4千円

▼県道関連遺跡調査事業(西岩野遺跡に対する県からの調査委託経費を増額) 300万円

## 市立博物館設置及び管理 に関する条例の一部を 改正しました

市立博物館の大規模リニューアル後、一般及び高校生から常設展示の入館料を徴収すること、入館料の団体割引及び減免基準等を定めました。

## 公の施設の指定管理者を指定

市の施設を管理運営する団体を指定しました。

【かしわざき市民活動センター】  
▼管理者  
特定非営利活動法人  
柏崎まちづくりネットあいさ

▼指定期間  
平成30年4月1日から  
平成35年3月31日まで

【高齢者生活支援施設結の里及び高齢者用冬期共同住宅ひだまり】  
▼管理者  
社会福祉法人  
柏崎市社会福祉協議会

▼指定期間  
平成30年4月1日から  
平成35年3月31日まで







## 買い物支援対策



春川 敏浩 議員

- 1 就任1年を経過し市長として見えてきた柏崎市の課題とは
  - (1) 見えてきた本市の課題について
  - (2) 柏崎市シテイセールズで市民の担う役割について
  - (3) 柏崎ファンクラブの方向性について
  - (4) 若者が魅力を感じるまちとは
- 2 高齢者支援対策について
  - (1) 郊外バス路線の利便性について
  - (2) 買い物支援対策について
  - (3) ごみ出しボランティア

本市の高齢化率は現在32%を超えようとしている。こうした中、中山間地では小売店舗の閉店に伴い過疎化が一段と進行している。免許証の返納や、車に乗れない人、高齢者世帯など「買い物弱者」がふえている。シルバー人材センターでは3年間、地区を限定し、買い物バスツアーや買い物代行を試験実施した。参加者からは好評の様子がかがえた一方で、コアな個人情報を知られたくない、バスの乗車にかなり時

間がかかり、他人に迷惑をかけてしまうと思いついでしまいう遠慮した人もいた。こうした試験結果を受け、買い物支援活動でどのようにして高齢者世帯を支え、今後どう対策を市として行っていくのか見解を求める。

◎市長  
昨年度までの3年間、シルバー人材センターが国と市の補助事業を活用して、買い物支援事業を実施してきた。いずれのサービスも好評で、特にバスツアーについては、毎回多くの方が参加さ

れ、買い物を楽しんでいた。買い物支援というだけでなく、お年寄りの外出支援や生きがいづくりといった側面からも、大きな効果を上げたものと評価している。

これらのサービスは、今年度もシルバー人材センターの事業として継続実施しているが、持続可能な取り組みとすべく、何かよい方法はないかと相談を受けた。

これを受け、継続できる仕組みを検討するよう、現在担当課に指示しているところである。

## 一般質問

# 市政のここが知りたい 市政にこれを提案したい

(質問の全項目を冒頭に記載、その内容の一部を掲載しました)



## 柏崎のまちづくりにつながる 学生・外国人消防団員の褒賞



三井田孝欧 議員

- 1 学生消防団及び外国人消防団員に対する柏崎市の褒賞制度創設について
- 2 景気回復を目指す政府方針と、今後十年単位で柏崎市がとるべき戦略や新幹線等の公共投資の考え方を問う

これまで学生消防団を提案し続けてきた。本年11月、学生消防団が誕生したことは喜ばしいことであり、関係者の御尽力に感謝したい。改めて、実現までの経緯を確認したい。また、学生にとってのメリットも必要であり、就職活動な

どで学生の評価につながるような認証制度をどうするのかを課題と言われている。私は認証に加え、褒賞制度により名誉を与えるべきと思う。

学生消防団、外国籍の消防団員が柏崎市消防団員として活動することにより、消防団員や柏崎市民との関係が密接になり、就職、定住につながることもあろう。また、卒業後に柏崎を去ることになったとしても、日本国内外で、外部からの強力な柏崎応援団になってくれることが期待できる。シテイセールスの観点でも重要ではないかと思う。学業の傍ら消防団活動を行ったことに対して名誉を与える褒賞制度にし、さらなる拡充を目指すべきと考えるが、市長の考えはどうか。

### ◎市長

今年度、市内の各大学にお願いし、学生に直接消防団の説明をする機会をつくっていただいた。その後、学校の関係者の方々から、入団について前向きに考えるよう学生に働きかけていただき、入団が実現したところである。

学生消防団が誕生したことから、学生消防団員活動認証

制度の創設を考えている。これは、就職活動支援の一環として、就職活動時に消防団活動が評価されることを目的としているものである。この認証制度は、全国的に、団員として1年以上の活動内容を判断した上で、顕著な実績があると認められた場合に、その功績を認証する制度となっている。学生であることは難しいと考えるが、学生であるという特殊性を考えながら消防団活動を注視し、表彰など褒賞の対象となるか検討させていただく。

## IoTの積極的な導入で、 市内企業の付加価値向上を



佐藤 和典 議員

- 1 IoT促進による産業支援策
  - (1) ビッグデータ時代に向けた方向性
  - (2) 全ての産業にIoTの導入を
  - (3) 新しいものづくり産業への可能性
- 2 公用車の交通安全対策
  - (1) ドライブレコーダーの有効利用
  - (2) 今後の安全対策について

みに活用できないか伺いたい。柏崎市が進めるべき新しい産業の核の一つはITである。IT技術に関する人材育成をいち早く進め、雇用の拡大を目指すべきと考えるが、市長の見解を伺いたい。

### ◎市長

全てのものがインターネットにつながる、この第4次産業革命によって、製造業の産業構造も大きく変わっていくものと認識している。

製造業のデジタル化が進む中で、新たなビジネスモデルの創出が進むよう、企業の意識改革や環境整備に積極的に取り組む中小企業への支援が、今後さらに重要になってくるものと認識しており、柏崎技術開発振興協会への負担金の支出を検討していく。

鳥獣被害対策では、捕獲にIoTの活用が研究されており、事業効果の向上や効率アップにつながるものについては活用を検討する。

IT技術者の育成には、情報関連産業の振興が必要であると考えており、現在、市として基本方針を取りまとめている最中である。

また、「スマートファクトリーシテイ構想」など、全国に先駆けたビジネスモデルが市内で展開されている。市内企業の育成を図るために、IoTを活用する事業者等には積極的に支援をすべきと考えるが、今後の方向性を伺いたい。

一方、全国では製造業だけでなく幅広い産業でIoTが導入されている。農業分野における鳥獣対策等の取り組み



## シティセールスの施策に対する フォローアップ体制は どうなっているのか？



与口 善之 議員

価について

(1) 公共施設の利用状況調査結果と個別施設計画の検討状況について

(2) 公共施設の削減量と財政との関係について

3 シティセールスのイベント実施とフォローアップ、行動計画の目標値の設定について

(1) イベント開催とその後参加者へのフォローアップについて

(2) シティセールスにおける3つの目標に対する目標値について

シティセールス行動計画も

第二次版が策定され、さまざまな施策が先行実施されている。6月28日東京都渋谷で行われた女性向けイベントでは

柏崎への女子旅プランも紹介され、参加者へのアンケート結果を見ると、「行ってみたい」と答えた方も多い。では、

実際に当市を訪れた方がおられたのかなど、参加者へのフォローアップの状況と結果、

あわせて、システムとしてのフォローアップ体制について

伺う。

◎市長

渋谷での女性向けイベント

では、参加者からアンケートを介してメールアドレスの情報をいただくことができ、現在はU・Iターンセミナーなどの情報を御案内している。

今年度お越しいただいた人数は把握していないが、来年度は、イベント参加者を対象としたバスツアーを企画し、実際に柏崎にお越しいただく機

会の提供を検討している。なお、今後も柏崎市への誘客促進やファン獲得、最終的には定住促進に向けたPRイベントやU・Iターンセミナー等を開催する予定である。

1 平成30年度予算が目指すまちづくりについて

(1) 平成30年度予算編成規模と目指すまちづくりについて

ア 平成30年度予算で目指すまちづくりについて

イ 平成30年度予算の規模と予算編成について

(2) ガス公営企業売却益と今後の財政計画について

2 新公会計制度導入と行政評価による行政経営の効率化について

(1) 新公会計制度と行政評価による予算編成について

ア 柏崎市が取り組んできた行政評価と施策評価導入について

## 新売電会社設立で 柏崎地域の電気料金を安くする



真貝 維義 議員

柏崎市は平成15年、経済産業省に、電気料の軽減を目指した新エネルギー特区の申請をしている。原発で発電した電力を、柏崎地域内に特例料金で供給するという計画だったが、電気事業法のハードルを越えることができずに断念をした経緯がある。

電力の完全自由化で、電気事業法のハードルもなくなった。柏崎地域内の電気料金軽減を目指した新売電会社を設立し、地域振興を図る事業に改めて取り組んでどうか。

◎市長

エネルギーの地産地消が、地域経済の活性化や地域振興につながることは承知している。しかし、原子力発電所の電力を、発電所内の変電器や既存の送電線を使って柏崎地域に供給することは、解決すべき課題も多く、実現は容易ではない。原子力発電所から

の安価な電力供給の可能性については、今後、国・県・電気事業者と研究を進めていく。また、再生可能エネルギーなどによる電力を地域に供給する地域エネルギー会社の設立

についても検討を進めていく。

3 売電事業による電気料金軽減と柏崎市の活性化について

(4) 新公会計制度導入に合わせ予算仕訳による業務システムの効率化について

(3) 新公会計制度と行政コスト分析による行政経営について

(2) 新公会計制度導入と財政見える化について

イ 新公会計制度導入と行政評価による予算編成について

ア 柏崎市が取り組んできた行政評価と施策評価導入について

### 第 7 期介護保険事業計画の 課題と方向性



阿部 基 議員

- 1 第 7 期介護保険事業計画  
について
  - (1) 高齢者が住みなれた地  
域で安心安全に暮らせる地  
域づくりについて
  - (2) 健康寿命延伸に向けた  
取り組みについて
  - (3) 介護従事者不足につい  
て
- 2 中学校の部活動について

第 7 期介護保険事業計画の柱の一つに、介護・福祉サービスの確保と支援体制の充実とあり、介護人材は地域包括ケアシステムの構築に不可欠である。

深刻な介護従事者不足となつており、柏崎市ではこの状態を重く受けとめ、他市にはない事業に取り組んでいるが、思うように集まっていないのが実情である。今後の取り組みを聞きたい。

介護に携わる方から、介護職を誇りに思っているとの声を聞いている。先入観にとらわれないで P R する必要がある。

さらなる取り組みとして、公営住宅を提供し、市内の限られた生産年齢人口を取り合うのではなく、市外からの移住を呼びかけてはどうか。

介護の有資格者だけではなく、介護施設で働きたいと思う方々にも支援の拡充を願う。

#### ◎市長

現在、市では「介護従事者人材確保・育成支援事業」による無資格者への資格取得、就職支援や、有資格者が市内介護施設に勤務した場合 20 万円の補助金を交付しており、本年度からは、市外から転入し就職した場合は補助金を 30 万円に増額している。

このほか、市内高校の介護分野に進学する生徒に対して情報発信するとともに、長岡

### 建築基準法の違反について 市長の見解を伺う



若井 洋一 議員

市や新潟市の専門学校を訪問し、当市への就職の働きかけを行っている。

今後は、「介護職員就職支援事業」の補助金交付対象者の拡充や、資格所有者でなくてもできる業務の担い手としての、人材活用を予定している。

また、介護職員の定着に向けた研修の開催や、広報などで介護職員の声を発信し、介護に興味を持ってもらえるよう努めたい。

また、介護従事者のみならず、I ターン者に対して公営住宅を紹介することも検討していきたい。

原子炉建屋防火壁の貫通部分に穴をあいたままであったと発表された。貫通部分は塞ぐことが義務づけられており、明らかに建築基準法違反と考えられる。

#### 1 農業施策の課題と展望について

- (1) 米の直接支払交付金の廃止について
  - (2) 収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)について
  - (3) 小規模農家について
  - (4) 有害鳥獣の被害対策について
  - (5) 耕作放棄地の見直しについて
- #### 2 原発について
- (1) 科学的特性マップの公表について
  - (2) 建築基準法に違反している事象について

ン隠しなど、多くの隠蔽があった。今度は建築基準法違反である。原発を運転する資質、適格性を疑うが、市長の見解を伺う。

#### ◎市長

7 月 11 日に 2 号機で、防火区域の壁の貫通部に防火処理が施されていないことが確認され、当該部を是正するとともに、発電所所有の建物全てを調査するとし、11 月 21 日に結果が報告され、42 棟で 60 カ所が貫通処理未実施であることが確認された。

体質改善や管理改善については結果がすぐにはあらわれないものではない。今後も東京電力がどのような抜本的な対策を取り、改善を進めているかについて、適時適切に説明を求めていきたいと考えている。

また、原子力規制委員会の更田委員長は建築基準法違反の貫通部について「好ましいことではないが、安全上重要な設備の範囲外」とし、6・7 号機の審査に直接影響するものではないとの見解を示しているが、柏崎刈羽原子力規制事務所では当該部分の調査が進められているので、その結果も重要である。

建物完成時には、完了審査が義務づけられており、どうしてこのようなことが起きるのか理解できない。

2002 年のトラブル隠し、福島原発事故でのメルトダウ